

第 2 学年 英語科学習指導案

1 単元名 PROGRAM 6 A Work Experience Program (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、不定詞を使って、自分のしたいこと、行動の目的、何をするためのものかを英語で表現する能力とそれらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することがねらいである。

Section 1, 2 では、これまでに学習してきた過去形や不定詞を使って、職場体験でそれぞれの生徒が体験したことについてやり取りを行わせる。Section 3 では、これまでに学習してきた過去形、未来表現、助動詞などを使って、職場体験で学んだことや今後努力していくこと、将来の夢について、まとまりのある英語でスピーチを行わせる。本単元終了後には、コミュニケーション活動「POWER-UP 5 『インタビュー記事を書こう』」で体験記を作成する。PROGRAM 6 でインタビューやスピーチを行い、その内容をまとめて体験記を書くという、複数の技能を統合した活動を行う。これらの活動に取り組みせることによって、それぞれの生徒が自分の実体験を踏まえ、学習した内容をどう使うかを思考し、判断する力を養うことができる教材である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に英語学習への関心が高い。男女間の関係が良好で、ペアでの学習では、互いに教え合いながら取り組むことができている。10月に実施した意識調査では、全体の87%の生徒が、ペアやグループで英語を話す活動が「好き」「まあまあ好き」と答えていた。しかし、四技能の中で「話すこと」に一番苦手意識を持っている生徒が、全体の50%いることが明らかになった。練習にはまじめに取り組んでいるものの、学習した表現を正確に使いこなすことができない生徒が見られる。

課題テストの結果や授業中の見取りからも、「正確さ」という面で、二極化が進んでいることが分かる。知識や技能の習得が困難な生徒たちに応じた、細やかな手立てを取っていく必要がある。

(3) 指導観

1学期は、プロジェクトゴール「My Project 4『スキット作りを楽しもう』」に向けて、各単元のBasic Dialogをスキットに発展させ、ペアごとに発表させてきた。2学期からは、帯活動のMini×2 Talkを取り入れ、身近な話題で30秒程度会話することに慣れさせている。Section 1, 2では、自分の職場体験に関するメモを頼りに、ウッド先生のインタビューに答える対話活動を行う。Section 3では、桃子のスピーチを参考にして、40秒程度のスピーチ活動を行う。書く活動の前に対話やスピーチをさせることで、即興で話すことに慣れさせたい。また、話した内容を書くことにおいて再現させることで、正確さを意識させたり、内容について再考させたりすることができる。Section 3のスピーチ後に、体験記の英作文を作らせる。英作文は互いに読み合わせた後に、簡単にコメントさせる活動を行う。

文化発表会において、本単元で作成した体験記を展示し、生徒が本文を基にインタビュー活動を行う映像を上映する予定である。また、代表生徒はステージ上に登場し、職場体験や将来の夢について英語でスピーチしたりやり取りしたりすることを計画している。本単元の学習を文化発表会における発表につなげることで、生徒が学習したことを発信する機会を作り、学習内容と学校行事とを関連させることで、生徒の意欲を高めさせたい。さらに、本単元の学習を通して、スピーチの型を身に付け、2学期のプロジェクトゴール「My Project 5『スピーチをしよう—こんな人になりたい』」につなげられると考える。

3 単元の目標

- (1) メモを頼りに、40 秒程度の会話やスピーチができる。
- (2) 職場体験や将来の夢について 8 文以上の英文を書くことができる。

4 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① ペアやグループの活動で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ② 分からない単語や英文を辞書や教科書等を使い、調べて表現しようとしている。	① メモを頼りに、40 秒程度のやり取りやスピーチができる。 ② 構成を考えながら 8 文以上の英文を書くことができる。	① 教科書の本文を聞いたり、読んだりして正しく理解することができる。 ② クラスメートのスピーチを聞いたり、体験記を読んだりして正しく理解することができる。	不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の運用についての知識を身に付けている。

5 単元計画 (全 11 時間 本時 5 / 11)

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 不定詞の名詞的用法「～すること」を理解する。 ・“want to”と“like to”を使ったコミュニケーション活動を行う。	ア①② エ	活動の観察 後日ペーパーテスト
2	○英語のインタビューに慣れる。 ・新出語句の導入、本文の音読、内容理解をする。 ・Section 1 本文を参考にし、自分の職場体験についてやり取りを行う。	ウ①	活動の観察 後日ペーパーテスト
3	○不定詞の副詞的用法「～するために」を理解する。 ・Section 1 本文を参考にし、自分の職場体験についてやり取りを行う。 ・「～するために...した」を使ったコミュニケーション活動を行う。	エ	後日ペーパーテスト
4	○インタビューに 2～3 文で答える練習をする。 ・新出語句の導入、本文の音読、内容理解をする。 ・Section 2 の本文を参考にし、職場体験についてやり取りを行う。	ウ①	活動の観察 ワークシート
5 本時	○メモを頼りに、職場体験や将来の夢について会話し、その内容を基にスピーチの練習をする。 ・Section 1, 2 の本文を参考にし、職場体験や将来の夢についてやり取りを行う。 ・会話用のメモを頼りに、スピーチを行う練習をする。	イ①	活動の観察 後日発表
6	○不定詞の形容詞的用法「～するための...」を理解する。 ・“I have a lot of things to learn.”に続けて、自分が今やるべきことについて 3 文以上で伝える活動を行う。	エ	活動の観察 後日ペーパーテスト

7	<p>○メモを頼りに、スピーチを行う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語句の導入、本文の音読、内容理解をする。 ・Section 3 の本文を参考にして、職場体験や将来の夢についてスピーチをする。 	ア①② ウ②	後日ペーパーテスト
8	<p>○職場体験や将来の夢について、40 秒程度の会話やスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Section 1, 2 の本文を参考にし、職場体験についてやり取りを行う（撮影）。 ・メモを頼りに、職場体験や将来の夢についてスピーチをする（撮影）。 	イ②	発表（撮影）
9	<p>○スピーチの内容に改良を加え、よりよい職場体験スピーチにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの構成を知る。 ・職場体験や将来の夢について、8 文以上の英文を書く。 	エ	体験記
10	<p>○体験記を完成させ、互いの体験記にコメントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの体験記を読み合う。 ・友達の体験記を読んで、簡単にコメントする。 	ウ②	体験記 ↓ 活動の観察
11	<p>○単元テストを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	ウ① エ	ペーパーテスト

6 本時の目標

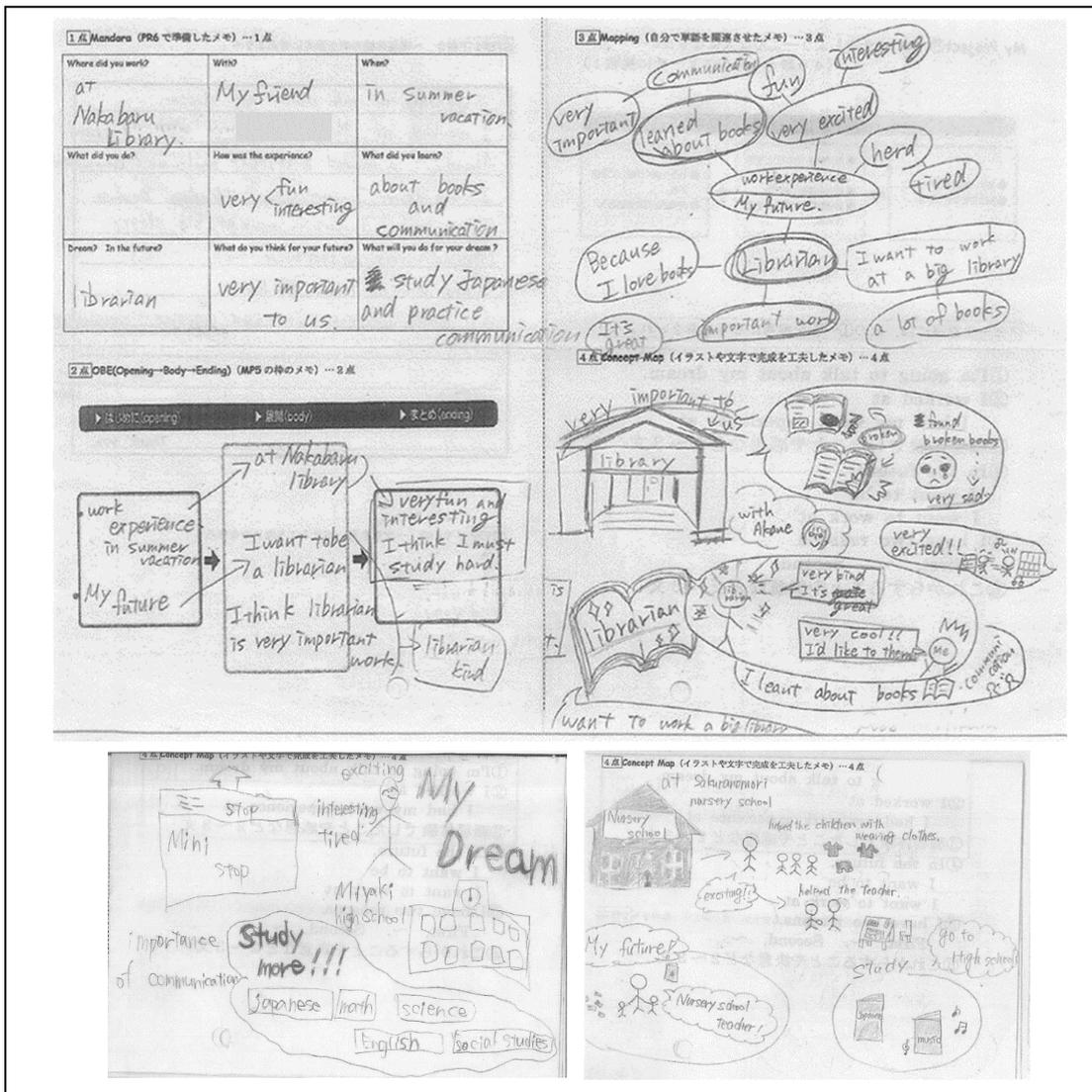
メモを頼りに、適切な声量や明瞭さで 40 秒程度のやり取りができる。（外国語表現の能力）

7 本時の展開

過程	学習活動	○教師の指導・支援 ●活動が十分でない生徒への手立て	評価の方法
導入	1 Mini×2 Talk を行う。 2 Dictionary Game を行う。 3 Shadowing を行う。 (教科書 Section 1, 2) 4 学習目標を確認する。	○会話を続けるポイントを示す。 ●会話の苦手な生徒に、人の発話をまねしてよいことを伝える。 ○問題を出す代表の生徒に、大きな声で分かりやすく発話するよう促す。 ○英語のリズムを意識しながら shadowing するよう促す。 ○表現の定着に向けて、発音や文法、意味を意識して十分練習を行わせる。	
めあて：メモを頼りに、即興でインタビューに答えよう！			
展開	5 Review 1 Section 1 を基に職場体験インタビューを行う。 6 Review 2 Section 2 を基に職場体験インタビューを行う。	○生徒役(インタビューに答える人)は、自分のことについて 2～3 文で反応するように指示する。 ●教科書本文のやり取りを参考にさせる。 ○ウッド先生役 (インタビューする人) は、相手の応答に対してうなずいたり、コメントしたりするよう声掛けをする。	行動観察 (後日発表)
展開	7 Challenge メモを頼りに、スピーチに挑戦する。	○生徒役(インタビューに答える人)は、自分のことについて 2～3 文で反応するように指示する。 ○話す順番を検討する時間を十分取り、個人で練習させてからペアでの活動を行う。 ○メモを見ながらスピーチしてよいことを伝える。 ●インタビューへの答えをそのまま 1 文ずつつなぐようにして話すよう促す。	
まとめ	8 活動を振り返り、パフォーマンスの撮影への見通しを持つ。	○活動の良かった点を褒め、生徒の意欲を高める。	

8 本時の評価

評価規準 (やり取り)	メモを頼りに、適切な声量や明瞭さで 40 秒程度のやり取りができる。 (外国語表現の能力)		
判断する めやす (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	適切な声量や明瞭さで、適切な英文を用いて、40 秒以上のやり取りができる。	不自然な間が空いたり、不完全な英文が含まれていたりするが、適切な声量や明瞭さで 40 秒程度のやり取りができる。	(B)に達していない状況
→(B), (C)と判断した生徒への支援		→つなぎ言葉を使うよう声掛けする。	→やり取りのモデル文を提示し、参考にして英文を作ることができるようにする。 →Teacher Talk や帯活動において、キーワードや絵を頼りに行うやり取りを継続して取り入れ、即興でのやり取りに慣れることができるようにする。
評価方法	後日 発表		



資料1 発表ややり取りの内容についてアイデアを出すワークシートの記述例

PROGRAM 6 A Work Experience Program
 Class () No. () Name ()

本文を真似して、職場体験や将来の夢について会話したいスピーチをしよう♪

【キーワードを書きだそう!!】

Where did you work?	With?	When?
What did you do?	How was the experience?	What did you learn?
Dream? In the future?	What do you think for your future?	What will you do for your dream / future?

Part1 ウッド先生と由紀の会話を参考にしながら質問に答えよう♪

Interviewer	, where did you work?
	I worked at
Interviewer	Really? What did you do there?
Interviewer	Did you enjoy it?
Interviewer	(流れに合う質問)

【メモを1upさせよう♪—文章ではなく、メモで書こう!】

Where did you work?	With?	When?
What did you do?	How was the experience?	What did you learn?
Dream? In the future?	What do you think for your future?	What will you do for your dream / future?

Part2 ウッド先生と武史の会話を参考にしながら質問に答えよう♪

Interviewer	How was your work experience,	?
	It was	
Interviewer	Where did you work?	
	I worked at	
Interviewer	Really? What did you do?	
Interviewer	Did you learn anything?	
Interviewer	What are your plans for the future?	
Interviewer	Oh, really? Why?	
Interviewer	So what will you do?	

資料 2 ワークシート

振り廻りアタさん
シート

○単元名：PROGRAM6 A Work Experience Program
～POWER-UP⑤Listening&Writing インタビュー記事を書こう【単元計画・自己評価表】

◎単元目標 Class() No.() Name()

① メモをもとにして、40秒程度の会話やスピーチができるようになる！【文化発表会劇予定】
② 不定詞 (to + 動詞の原形) を使って職場体験や将来の夢について語ろう。
③ 職場体験や将来の夢を体験記にまともよう！【文化発表会展示予定】

◎学習計画 (全 11 時間 学習の見通しをもとう) ◎学習：Mini Mini Talk

時	学習内容・目標	自己評価
1	★PROGRAM6 ①文法 (教科書 p52-53) 不定詞 (to + 動詞の原形) 文法 職場体験を英語で伝えよう ～学習の見直しをもとう～ ①「～すること」不定詞 (to + 動詞の原形) の使い方がわかる。 ②「want to～」と「like to～」を使って自分の気持ちをいうことができる。	Sorry... So-so Good!!
2	★ PROGRAM6 ①文法・本文 (教科書 p52-53) ①単語を正しく発音することができる。 ②本文の内容を正しく読み取り、質問に答えることができる。 ③本文をまねて、職場体験について質問したり応答したりできる。	Sorry... So-so Good!!
3	★ PROGRAM6 ②文法 (教科書 p54-55) 不定詞 (to + 動詞の原形) 文法 ①「～するために」不定詞 (to + 動詞の原形) の使い方がわかる。 ②不定詞 (to + 動詞の原形) を使って行動の目的をいうことができる。 ③単語を正しく発音することができる。	Sorry... So-so Good!!
4	★ PROGRAM6 ②文法・本文 (教科書 p54-55) ①p52-54 Listen (聞き取り) …正しく聞き取ることができる。 ②本文の内容を正しく読み取り、質問に答えることができる。 ③本文をまねて、職場体験について質問したり応答したりできる。	Sorry... So-so Good!!
5	★ PROGRAM6 ①、②本文 (教科書 p52-55) ①①、②の本文をまねて、職場体験について質問したり応答したりできる。 ②会話に必要なメモを作成できる。 ③メモをもとにして、職場体験や将来の夢について簡単に会話できる。 【簡単なインタビュー】を振り廻って！ ①会話に必要なメモをつくることができた。【できた ・ あと少し ・ できなかった】 ②メモを見ながら質問に答えることができた。【できた ・ あと少し ・ できなかった】 ③相手に伝わる声の大きさを話すことができた。【できた ・ あと少し ・ できなかった】	Sorry... So-so Good!!
6	★ PROGRAM6 ③文法 (教科書 p56-57) 不定詞 (to + 動詞の原形) 文法 ①「～するための…」不定詞 (to + 動詞の原形) の使い方がわかる。 ②不定詞の用言に慣れよう～身につけて身につけよう～ ③単語を正しく発音することができる。	Sorry... So-so Good!!
7	★ PROGRAM6 ③文法・本文 (教科書 p56-57) ①本文の内容を正しく読み取り、質問に答えることができる。 ②PR6①～③の本文を正しく発音することができる。 ③メモをもとにして、職場体験や将来の夢について簡単にスピーチできる。	Sorry... So-so Good!!
8	★ POWER-UP⑤ インタビュー記事の書き方 (教科書 p58-59)	
9	発表 (movie 撮影) & スピーチ内容を 1up させよう ①教科書やメモをもとに職場体験や将来の夢についての会話やスピーチができる。 ②職場体験や将来の夢について英文以上の英文を書くことができる。(体験記)	Sorry... So-so Good!!
10	★ PROGRAM6～POWER-UP⑤ 体験記完成！ (教科書 p52-59) 【体験記を完成させよう！】 ①体験記を完成させる。 ②互いの体験記を読んで、簡単にコメントすることができる。	Sorry... So-so Good!!
11	★ PROGRAM6 単元テスト (教科書 p50-59) 範囲：PW③～PW⑤～PR6 職場体験 ～PW⑤インタビュー記事 ①PW③～PW⑤～PR6単元テストで30点以上をとろう！ ②学習のまとめをしよう！	Sorry... So-so Good!!

☆多単元の学習の振り廻り

資料3 学習内容と目標を示したリスト

★英語の授業の約束★

- ・ 全員で「学び合い」をし、課題達成を目指す。
- ・ 先生の話や先生を聞くときは静かに注目し、「学び合い」の時間には友達に聞いたり教えたりして、どんどん話を進めよう。
- ・ 「学び合い」では単に答えを教えるのではなく、考え方を教えたりヒントを出したりしよう。
- ・ 自分だけでなく、みんながわかるようにしましょう。

①メモをもとにして、40秒程度の会話やスピーチができるようになる！
【文化発表会劇予定】

②不定詞 (to + 動詞の原形) を使って
職場体験や将来の夢について語ろう。

③職場体験や将来の夢を体験記にまともよう！
【文化発表会展示予定】

劇の中に登場し、ステージ上で英語の会話インタビュー！



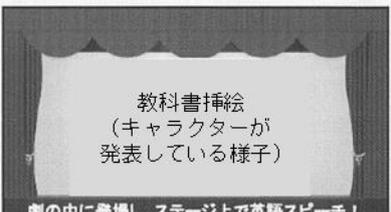
PROGRAM6
A Work Experience Program

ワッド先生が職場体験について自記と武史にたずねる。由紀は、保育園で子どもたちと楽しく過ごして、将来は保育園の先生になりたいと語る。武史はスーパーマーケットで職場体験をして、あいさつ大切さを知ったことなどを話す。桃子はコンピュータ技師になりたいという将来の夢と自分の課題をクラスで発表する。

不定詞 (to + 動詞の原形)
★名詞的用法「～すること」
★副詞的用法「～するために」
★形容詞的用法「～するための」

教科書挿絵
(キャラクターが発表している様子)

劇の中に登場し、ステージ上で英語スピーチ！



会話もしくはスピーチが、劇の中に映像で登場！



MMT

What did you do last Sunday?

①過去形の作り方【一般動詞 + ed】
※不規則変化する動詞に注意！

②be動詞をつけて、気持ちをつけたそう！
I was ... happy (うれしかった), excited (わくわくした), busy (忙しかった), tired (つかれた)
It was ... interesting (おもしろかった), exciting (わくわくした) など

劇の中に登場し、ステージ上で英語の会話！



教科書本文と挿絵
(キャラクターが発表している様子)

8～10文程度の英語で職場体験や将来の夢について書く

写真またはイラスト

ひとしり作品

資料4 活動内容や目標の提示用スライド